

2013年度中間期実績の概要

2013年11月12日

株式会社 三井住友フィナンシャルグループ

2013年度中間期総括

- SMFG連結ベースの経常利益(8,359億円)、中間純利益(5,057億円)ともに、半期ベースで過去最高益を計上
- 連結当期純利益予想(通期)を5,800億円から7,500億円へ上方修正
- 年間配当予想を1株当たり110円から120円に増額
 - SMBCでは、企業金融部門や国際部門などマーケティング部門の業務純益増益に加え、市場営業部門で株式インデックス投信の評価益を実現
 - SMBC日興証券をはじめ、SMBC以外のグループ会社も総じて堅調
 - クレジットコストの戻り益を計上

1株当たり情報 (SMFG連結)

	13年度 中間期	前年同期比	13年度予想 (13/11月修正)
1株当たり当期純利益	370.46円	+125.96円	548.97円
ROE(株主資本ベース)*	17.1%	+4.3%	
配当	55円	+5円	120円

	13/9月末	13/3月末比
1株当たり純資産	5,130.52円	+443.83円

* 年率換算

2013年度中間期業績サマリー

P/L

(億円)		13年度 中間期	前年 同期比	13年度予想 (11月修正)	5月予想比
SMFG 連結	粗利益	15,100	+1,382		
	連単差	6,882	+1,031		
	うち資金利益	7,803	+1,005		
	うち資金利益以外	7,297	+377		
	営業経費	7,806	588		
	与信関係費用	396	876		
	経常利益	8,359	+3,677	12,800	+2,500
	連単差	3,124	+1,187	4,700	+1,200
	当期純利益	5,057	+1,747	7,500	+1,700
	連単差	1,755	+842	2,400	+900
SMBC 単体	業務粗利益	8,218	+351	15,400	-
	うち資金利益	5,709	+961		
	うち国債等債券損益	63	1,110		
	経費*1	3,686	106	7,400	-
	業務純益*2	4,532	+245	8,000	-
	与信関係費用	783	539	500	1,300
	株式等損益	765	+2,101		
経常利益	5,235	+2,490	8,100	+1,300	
当期純利益	3,302	+905	5,100	+800	

SMBC以外の主要グループ会社の 連結当期純利益寄与(概数)

(億円)	13年度 中間期	前年 同期比
SMBC日興証券	410	+330
SMBC消費者金融	310	+0
三井住友ファイナンス&リース	150	+40
セディナ	130	+40
三井住友カード	90	+10
SMBCフレンド証券	80	+40
SMBC信用保証	70	50

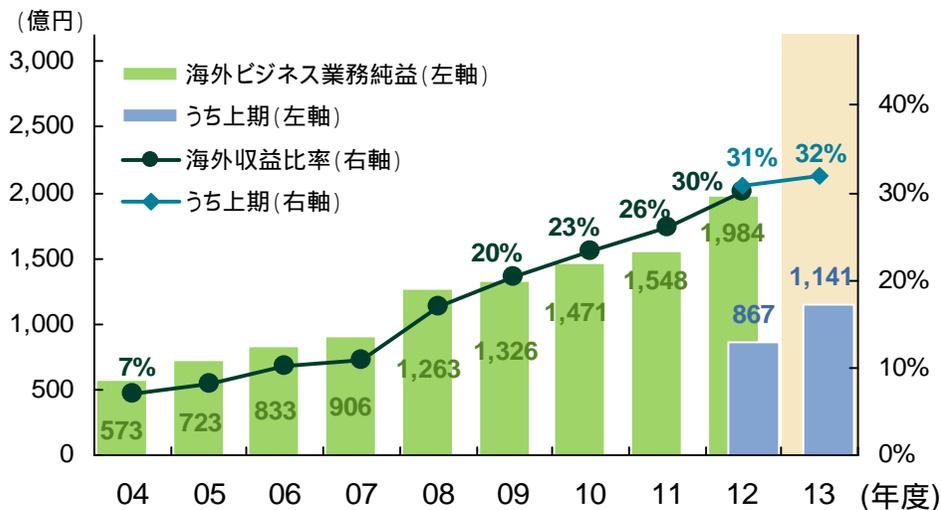
- 株式インデックス投信の評価益実現等

格付 (SMBC)

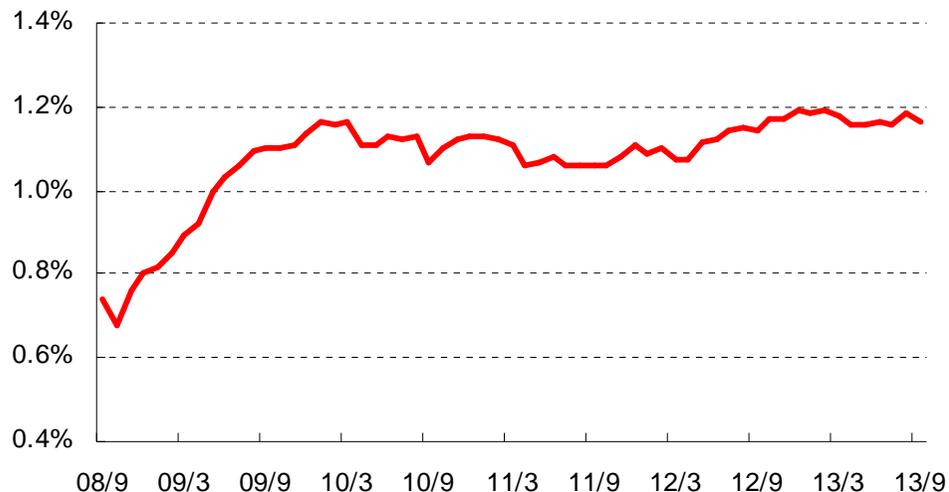
Moody's	Aa3 / P-1
S&P	A+ / A-1
Fitch	A- / F1
R&I	AA- / a-1+
JCR	AA / J-1+

海外ビジネス

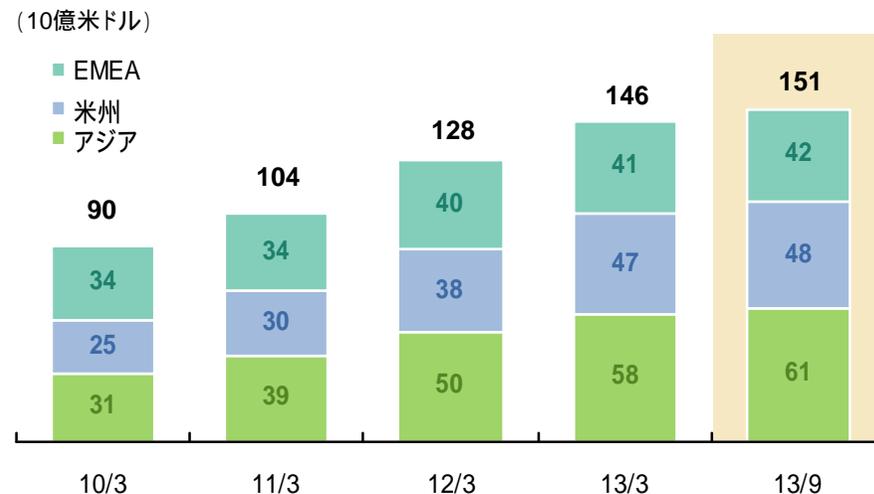
海外ビジネス業務純益、海外収益比率推移*1



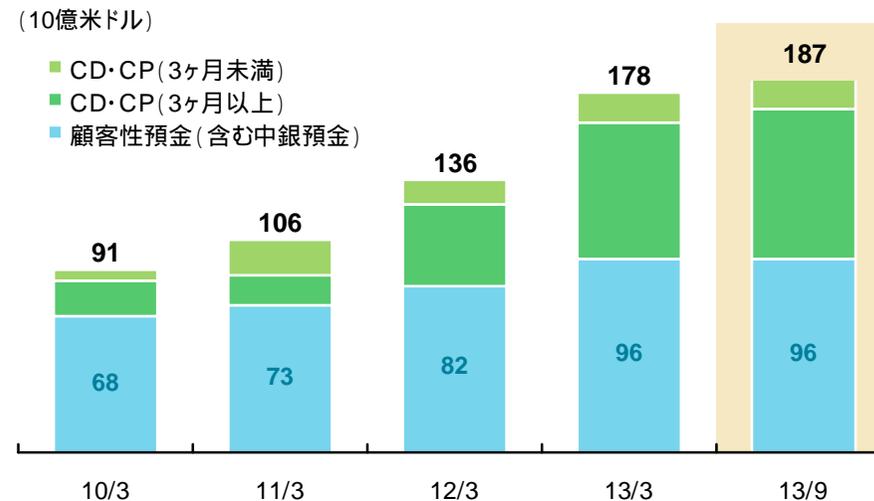
海外貸出金スプレッド*2, 3



海外貸出金残高*2, 4



海外預金等残高*2, 4

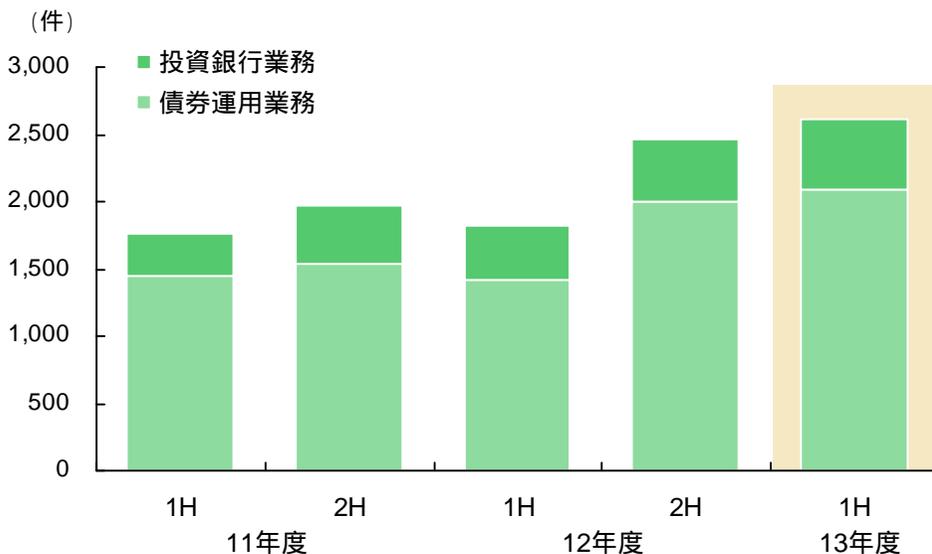


SMBC日興証券

業績(連結)

(億円)	業績(連結)			
	12年度 中間期	12年度	13年度 中間期	前年 同期比
純営業収益	1,085	2,747	1,806	+721
販売費・ 一般管理費	918	2,002	1,161	243
経常利益	173	757	653	+480
当期純利益	66	457	412	+346

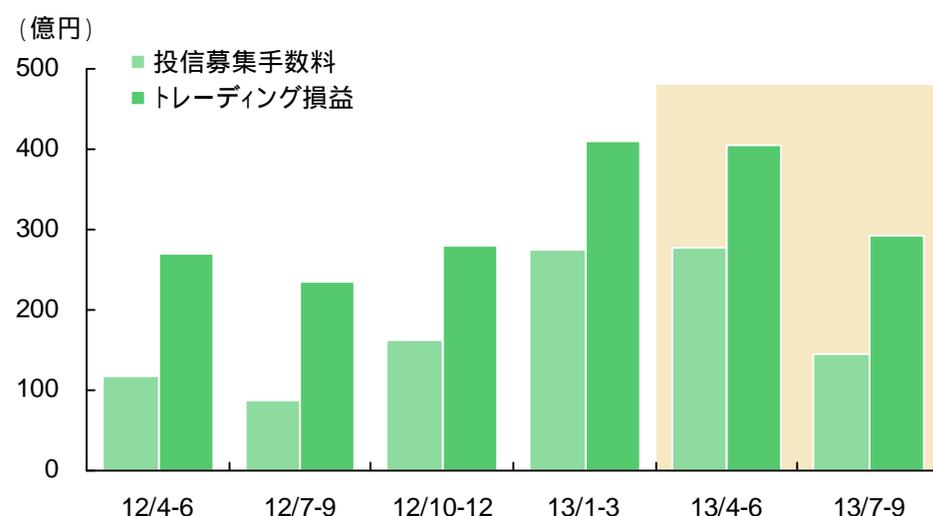
銀証連携



リーグテーブル(13年4月-13年9月)

	順位	シェア
株式関連 (ブックランナー、引受金額) ^{*1}	3位	12.8%
円債総合 (主幹事、引受金額) ^{*2}	4位	15.6%
ファイナンシャル・アドバイザー (M&A、取引金額) ^{*3}	6位	16.0%
ファイナンシャル・アドバイザー (M&A、案件数) ^{*3}	3位	2.6%

投信・外債等の販売関連収益



*1 出所: トムソンロイターの情報を基にSMBC日興証券が作成(日本企業関連、グループ合算ベース)

*2 出所: SMBC日興証券(事業債、財投機関債・地方債[主幹事方式]、サムライ債)

*3 出所: トムソンロイター(日本企業関連公表案件(不動産案件除外))

SMBCコンシューマーファイナンス

業績(連結)

(億円)	12年度 中間期	12年度	13年度 中間期	前年 同期比
営業収益	934	1,870	955	+21
経常利益	319	518	325	+6
当期純利益	305	481	306	+1
営業貸付金残高	7,464	7,428	7,443	
保証残高	6,216	6,596	7,022	
うち地方銀行等向け	2,135	2,327	2,526	

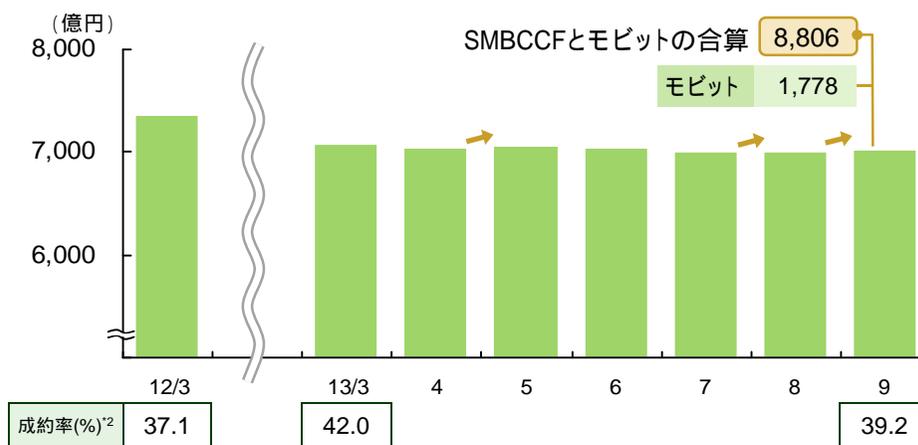
保証事業提携先数 189社 (13/10月)

海外事業

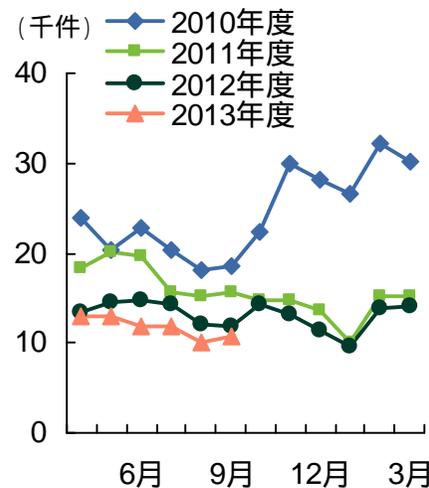
(億円)	12/9月末	13/3月末	13/9月末	13/3月末比
営業貸付金残高 ³	270	354	415	+61
うち香港	198	244	271	+27
タイ	44	63	78	+15
深セン	23	40	49	+9
瀋陽	3	6	15	+9

金融事業^{*1}

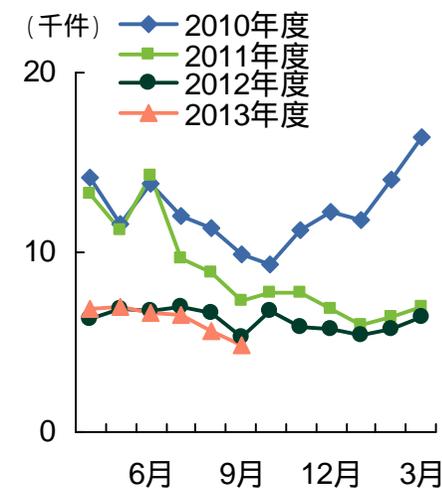
営業貸付金残高(単体)



取引履歴開示請求件数



利息返還請求件数



2013年度中間期セグメント別実績

	(億円)	業務粗利益	前年同期比	経費	前年同期比	連結業務純益 ^{*1}	前年同期比
合計		15,162	+1,412	7,524	524	7,081	+1,093
銀行業		9,341	+226	4,448	171	4,906	+125
うち三井住友銀行		8,218	+351	3,686	106	4,532	+245
リース業		713	+109	263	28	526	+132
うち三井住友ファイナンス &リース ^{*2}		668	+94	264	27	459	+116
証券業		2,183	+826	1,420	284	764	+568
うちSMBC日興証券		1,767	+707	1,141	240	623	+464
コンシューマーファイナンス業		2,704	+63	1,672	17	740	+58
うち三井住友カード		929	+42	677	16	222	+6
うちセディナ		774	+1	572	25	128	+36
うちSMBCコンシューマー ファイナンス ^{*2}		871	+43	347	30	325	+6
その他事業等 ^{*3}		221	+188	279	24	145	+211

部門別実績 (SMBC単体)*1

部門別利益

		(億円)	12年度 中間期	13年度 中間期	前年 同期比*2
個人部門	粗利益		1,748	1,637	54
	経費		1,409	1,407	5
	業務純益		339	230	49
法人部門	粗利益		2,018	1,959	36
	経費		1,067	1,077	6
	業務純益		951	882	42
企業金融部門	粗利益		961	1,119	+112
	経費		195	201	5
	業務純益		766	918	+107
国際部門	粗利益		1,073	1,402	+102
	経費		363	452	54
	業務純益		710	950	+48
マーケティング部門	粗利益		5,800	6,117	+124
	経費		3,034	3,137	60
	業務純益		2,766	2,980	+64
市場営業部門	粗利益		2,017	2,323	+306
	経費		102	116	10
	業務純益		1,915	2,207	+296
本社管理	粗利益		50	222	79
	経費		444	433	36
	業務純益		394	655	115
合計	粗利益		7,867	8,218	+351
	経費		3,580	3,686	106
	業務純益		4,287	4,532	+245

プロダクト別粗利益

		(億円)	13年度 中間期	前年 同期比*2
ウチ 国内貸出金収益	国内貸出金収益		2,254	53
	国内円預金収益		601	35
	国際部門金利関連収益*3		852	+65
金利収益			4,051	38
ウチ 投資信託	投資信託		238	+60
	一時払終身保険		33	35
	平準払保険		42	13
個人向けコンサルティング関連収益			340	+4
ウチ シンジケーション関連	シンジケーション関連		286	+80
	ストラクチャードファイナンス*4		303	+53
	不動産ファイナンス*4		117	25
投資銀行ビジネス関連収益*4			837	+128
ウチ デリバティブ販売	デリバティブ販売		112	+22
	振込・E B		457	0
	外為収益		214	1
国際部門非金利収益*3			588	+41
非金利収益			2,066	+162
マーケティング部門粗利益			6,117	+124

金利・為替影響等: +193億円

(表面ベース) 前年同期比: +317億円 ←

期中平均貸出残高・スプレッド

	平均残高		スプレッド		
	(兆円、%)	13年度 中間期	前年 同期比*2	13年度 中間期	前年 同期比*2
国内貸出		46.9	+1.1	0.99	0.05
ウチ個人部門		14.9	0.2	1.41	0.03
ウチ法人部門		16.8	+0.5	0.99	0.10
ウチ企業金融部門		12.1	+0.7	0.67	+0.01
国際部門運用資産*5		1,550億ドル	+125億ドル	1.20	+0.04

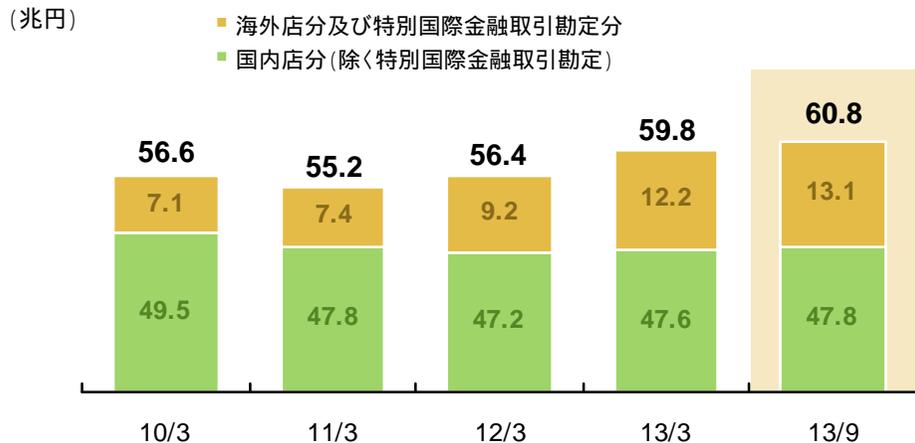
*1 内部管理ベース *2 金利・為替影響等調整後ベース

*3 香港・台北支店における日系企業取引収益を含む *4 金利収益を含む

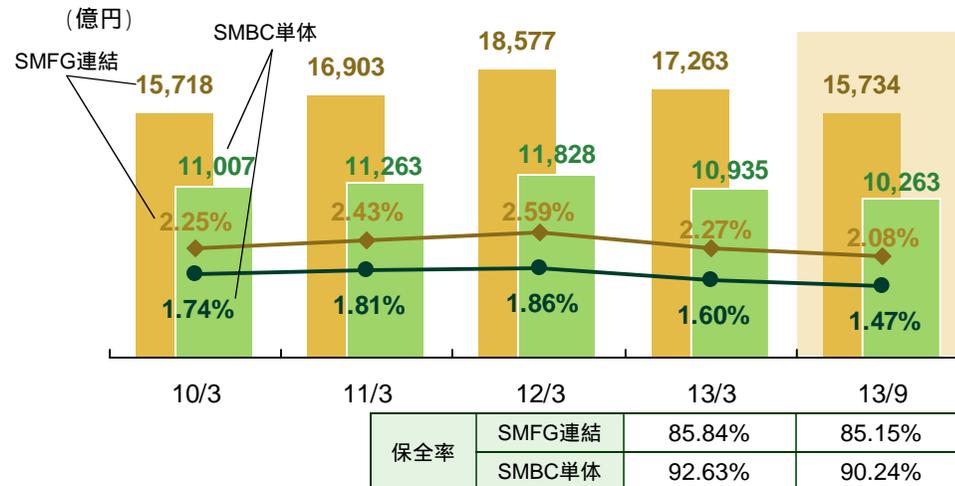
*5 貸出金・貿易手形・有価証券の合計

■ 主要項目の時系列推移

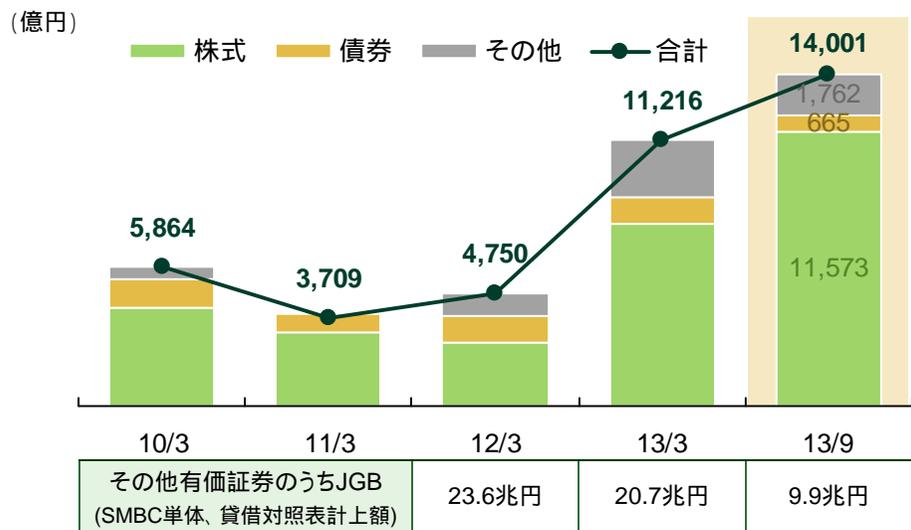
貸出金残高 (SMBC単体)



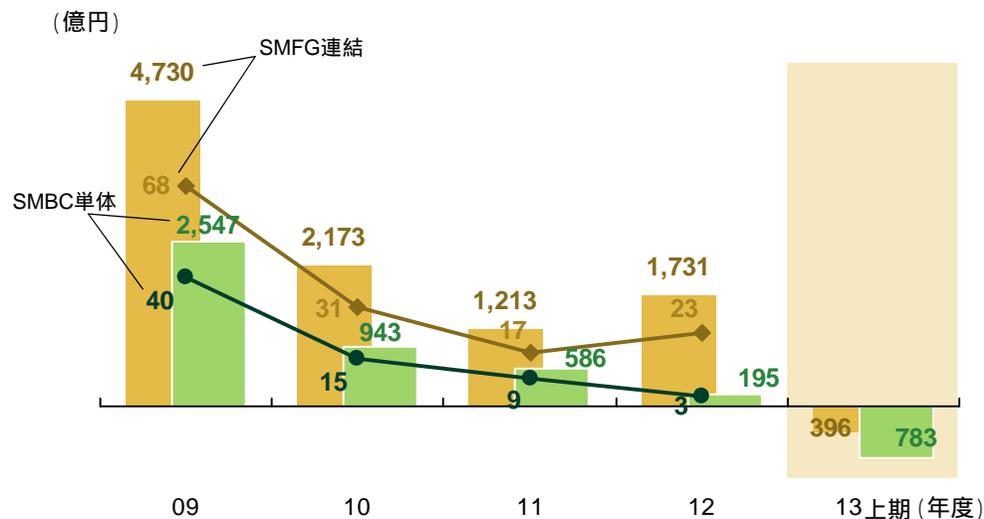
不良債権残高及び同比率*1



その他有価証券評価損益 (SMFG連結)



与信関係費用及び同比率*2



*1 不良債権比率 = 金融再生法開示債権残高(除く正常債権) / 総与信

*2 与信関係費用比率 = 与信関係費用 / 総与信

■ 資本・リスクアセット (SMFG連結)

自己資本比率(規制基準)

	(億円)	13/3月末	13/9月末 (速報値)
普通株式等Tier1資本		58,559	63,462
うち 普通株式に係る株主資本		55,859	60,716
うち 普通株式等Tier1資本に係る少数株主持分		2,689	2,732
Tier1資本		68,290	74,393
うち 適格旧Tier1資本調達手段		14,633	14,633
うち その他Tier1資本に係る調整後少数株主持分		1,276	1,319
うち 為替換算調整勘定		974	344
うち 調整項目		5,203	4,676
Tier2資本		23,570	23,924
うち 適格旧Tier2資本調達手段		18,309	18,309
うち その他有価証券及び土地の含み益の45%		5,066	6,178
うち 調整項目		767	1,602
総自己資本		91,860	98,317
リスクアセット		624,261	612,994
普通株式等Tier1比率		9.38%	10.35%
Tier1比率		10.93%	12.13%
総自己資本比率		14.71%	16.03%

普通株式等Tier1比率(完全実施基準*1(試算値))

	(億円)	13/3月末	13/9月末
規制基準との差異概数			
その他の包括利益累計額		6,646	8,682
うち その他有価証券評価差額金		7,558	9,276
少数株主持分(経過措置対象分)		1,296	1,321
普通株式等Tier1資本に係る調整項目		10,181	9,966
普通株式等Tier1資本(完全実施基準)		53,728	60,856
リスクアセット(完全実施基準)		620,628	609,301
普通株式等Tier1比率(完全実施基準)		8.6%	9.9%

13年度中に任意償還日が到来する優先出資証券

発行体・シリーズ	発行時期	発行総額	配当率 ^{*2}	任意償還 ^{*3}	ステップアップ	
SMFG Preferred Capital USD2 Limited						13/7 償還済
	08/5	1,800百万米ドル	8.75%	13/7以降	なし	
SMFG Preferred Capital JPY2 Limited						
シリーズD	08/12	1,452億円	4.76%	14/1以降	なし	
シリーズG	09/1	1,257億円	4.65%	14/1以降	なし	

*1 19/3月末に適用される定義に基づく

*2 SMFG Preferred Capital JPY 2 Limitedの任意償還日以降の配当率は変動配当率

*3 金融庁の事前承認を前提に、各配当支払日に任意償還可能

■ 中間期のトピックス

個人ビジネス

- 銀証リテール一体化ビジネスモデルを試行(13/5月～)
- ソシエテジェネラル信託銀行を完全子会社化、SMBC信託銀行として営業を開始(13/10月)
- NISA(少額投資非課税制度)口座獲得プロモーション
- SMBCとSMBCコンシューマーファイナンスが新型共同ACMを設置(13/5月～)
- 三井住友カードが米国スクエア社と業務提携、スマートフォン決済サービス等を開始

法人ビジネス

- 日本銀行の貸出支援基金等を活用した貸出を増強
- 再生医療ファンド、農業分野向けファンドに対する出資、太陽光発電事業向けプロジェクトファイナンスの組成等、成長産業支援に向けた取組みを推進
- SMBC日興証券として、初の事業会社のグローバルオファリング主幹事獲得

海外ビジネス

- SMBCではアジアを中心とする新興国に3営業拠点を開設(～13/10月)
- 三井住友ファイナンス&リースでは成都に、SMBC日興証券ではサンフランシスコに、SMBCコンシューマーファイナンスでは重慶に営業拠点を開設
- インドネシアBTPN宛出資、Multi-Franchise戦略を推進
- 米国FHCステータスを取得

本資料には、当社グループの財政状態及び経営成績に関する当社グループ及びグループ各社経営陣の見解、判断または現在の予想に基づく、「将来の業績に関する記述」が含まれております。多くの場合、この記述には、「予想」、「予測」、「期待」、「意図」、「計画」、「可能性」やこれらの類義語が含まれますが、この限りではありません。また、これらの記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクと不確実性を内包するものであり、実際の業績は、本資料に含まれるもしくは、含まれるとみなされる「将来の業績に関する記述」で示されたものと異なる可能性があります。実際の業績に影響を与うるリスクや不確実性としては、以下のようなものがあります。国内外の経済金融環境の悪化、当社グループのビジネス戦略が奏功しないリスク、合併事業・提携・出資・買収及び経営統合が奏功しないリスク、海外における業務拡大が奏功しないリスク、不良債権残高及び与信関係費用の増加、保有株式に係るリスクなどです。こうしたリスク及び不確実性に照らし、本資料公表日現在における「将来の業績に関する記述」を過度に信頼すべきではありません。当社グループは、いかなる「将来の業績に関する記述」について、更新や改訂をする義務を負いません。当社グループの財政状態及び経営成績や投資者の投資判断に重要な影響を及ぼす可能性がある事項については、本資料のほか、有価証券報告書等の本邦開示書類や、当社が米国証券取引委員会に提出したForm 20-F等の米国開示書類、当社グループが公表いたしました各種開示資料のうち、最新のものをご参照ください。